

フィットハウス三好店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

届出概要

オープン時に利用していた臨時駐車場(道路を挟み敷地南側)を第2駐車場として正式に増設する。
また、年間90日間について閉店時刻を午後8時から午後9時までに繰下げ、来客駐車場利用時間を午後9時30分までとする。(法第6条第2項)

届出事項

1	届出年月日	平成16年3月26日		
2	店舗名称	フィットハウス三好店		
	店舗所在地	西加茂郡三好町大字三好字砂後8-14		
3	変更をする日	平成16年11月27日		
4	届出事項	変更前 変更後		
(1)	設置者	名称	株式会社フィットハウス	
		代表者	代表取締役 吉田 健治	
		住所	岐阜県可児市下恵土868	
	小売業者	備考	なし	
		名称	株式会社フィットハウス	変更前に同じ
		代表者	代表取締役 吉田 健治	同
(2)	住所	岐阜県可児市下恵土868	同	
	備考	なし	同	
(3)	店舗面積	1758.21m ²	同	
		同	同	
	駐車	位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
		台数	73 台	171 台
	駐輪	位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
		台数	56 台	14 台
	荷捌	位置	別紙図面のとおり	変更前に同じ
		面積	222.9m ²	同
廃棄	位置	別紙図面のとおり	同	
	容量	12.1m ³	同	
(4)	営業	開店時間	午前10時	同
		閉店時間	午後8時	午後8時(年間90日午後9時)
	駐車場利用時間帯	午前9時30分から午後9時まで	午前9時30分から午後9時(年間90日午後9時30分)まで	
	駐車場	出入口数	3箇所	6箇所
		出入口位置	別紙図面のとおり	別紙図面のとおり
荷捌時間帯	午前6時から午後9時まで	変更前に同じ		
業態	住・生活関連品専門店			
用途地域	準工業地域			
参考	平成12年8月法第5条第1項届出(平成13年4月開店)			

I 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需用の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

① 駐車場の必要台数の確保

ア 指針による算出

店舗面積	日來客数原単位	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車時間 係数	指針必要台数
1,758 m ²	1047.2537	15.70%	3,100 m	75.00%	2.00 人	0.66	72 台

総駐車場台数	従業員等駐車場台数	付帯施設駐車場台数	=	来客用駐車場台数	評価
191 台	20 台	0 台	=	171 台	○

フィットハウス三好店

② 駐車場の位置及び構造等

1 平面自走ホペレーター無	2 平面自走ホペレーター有	3 機械式駐車場	4 共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
2箇所	0箇所	0箇所	0箇所	108台

ア 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

① 駐車場	種別	1 収容台数	113台	歩行者導線	分離	騒音配慮	特になし	排ガス配慮	特になし	判定
	出入口方向	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	入庫方法	出庫方法	駐車待スペース	
	東	市町村道	6.5m	14	10m	無	双方向	双方向	5m	○
	西	県道	20m	44	125m	無	双方向	双方向	3m	○
	南	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	警備員の配置		1年を通して混雑する時期のみ配備							

イ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

② 駐車場	種別	1 収容台数	58台	歩行者導線	分離	騒音配慮	特になし	排ガス配慮	特になし	判定
	出入口方向	道路種別	道路幅員	予測来台車	交差点距離	住宅前出入口	入庫方法	出庫方法	駐車待スペース	
	東	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	県道	20m	21	220m	無	双方向	双方向	5m	○
	南	市町村道	6.5m	-	10m	無	双方向	双方向	3m	-
	北	市町村道	6.5m	7	10m	無	双方向	双方向	0m	○
	警備員の配置		1年を通して混雑する時期のみ配備							

	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	○	○	○	○

③ 駐輪場の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗南側入口付近に1箇所
駐輪場の収容台数	14台
標準収容台数	47台

※駐輪場利用状況を調査した結果、一日数台であるため駐輪場収容台数を減少させても問題がない。

位置評価	台数評価
○	△

④ 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	222.9㎡	なし	10分	2台	2台	○

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
11:00~12:00	2台	16:00~17:00	10:00~11:00	単独テナント	1台分	○

⑤ 経路の設定等

(1) 車両関係

ア 来客車関係

案内表示	案内員の配置	生活道路の回避	通学路の回避	右折経路	右折用車線	右折入庫
有	必要なし	回避	回避	有り	無し	有り

イ 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
通学路なし	-	-

ウ 公共交通機関関係

駐車場の確保
バス停なし

エ 市町村事業関係

パークアンドライド事業への協力
事業なし

評価
○

フィットハウス三好店

(2) 歩行者通行関係

通抜可能通路の保持	通行妨害施設	夜間照明の設置
必要なし	無し	配慮あり

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

① 騒音問題対応策

ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	15 m	無	来客自動車・荷さばき・室外機	無	無	特になし
西方向	無	無	来客自動車	無	無	特になし
南方向	無	無	来客自動車	無	無	特になし
北方向	無	無	来客自動車・荷さばき・廃棄物収集作業	無	無	特になし

遮音壁の悪影響	なし
---------	----

評価
○

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	建物内に設置
荷捌施設運営面での配慮	アイドリングストップ、早朝夜間の荷捌作業の回避
荷捌施設機器選択面での配慮	無
放送設備使用面での配慮	条例を遵守する

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	無
給排気口からの騒音配慮	無
駐車場からの騒音配慮	アイドリングストップの促進
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	アイドリングストップ、早朝夜間の荷捌作業の回避

② 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	冷却塔	空調室外機	11	給排気口	27	変電施設	1	浄化槽	ポンプ	エンジン等
		冷凍室外機	冷凍機械室								
変動騒音	ゴミ収集作業	○	BGM		アナウンス		台車走行	○			
	自動車走行	○	荷捌アイドリング		後進警報ブザー	○					
衝撃騒音	荷降し音	○	台車走行	○							
建物の構造(高さ)		鉄骨2階建て(8.45m)									

ア 等価騒音レベル予測

	A(店舗・北)	B(店舗・南)	C(店舗・北東)	D(店舗・南東)
用途地域	準工業地域	準工業地域	準工業地域	準工業地域
昼間基準値	60 dB	60 dB	60 dB	60 dB
夜間基準値	50 dB	50 dB	50 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	54.0 dB	54.3 dB	56.4 dB
	評価	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当

	No.1(店舗・西)	No.2(第2駐車場・南)	No.3(第2駐車場・東)
用途地域	準工業地域	第1種低層住居専用地域	第1種低層住居専用地域
昼間基準値	60 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値	50 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	42.6 dB	47.0 dB
	評価	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当

※夜間において周辺住居に影響を与える音源がないため予測なし。

フィットハウス三好店

(2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	悪臭を放つ要因となる商品の取り扱いはない
衛生問題関係配慮	同上

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	11.10 m ³	1日	0.44 t	0.10 t/m ³	4.40 m ³	変更なし	○
空缶・空き瓶	1.00 m ³	1日	0.07 t	0.10 t/m ³	0.65 m ³	変更なし	○
厨芥・その他	0.00 m ³	0日	0.17 t	0.15 t/m ³	0.00 m ³	変更なし	○
合計	12.1m ³	-	-	-	5.05 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	当店舗の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	無	空缶・空き瓶の回収箱設置	無
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	無
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	無
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	無

位置・構造	適正な分別の実施	2種類の分別廃棄を実施中
	搬出作業の利便性の確保	荷さばき施設に併設
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	悪臭の発生する廃棄物はない
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	無
	生ゴミ保管施設の気密性の確保	無

十分な搬送頻度の確保	週7回
繁忙期の特別な措置	無
運搬(予定)業者(免許番号)	(有)大山商店
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	食品加工なし

評価
○

市町村意見の概要	対応
意見なし	-

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案
意見なし